

平成
26
年度

東京国立博物館 スクールプログラム



TOKYO NATIONAL MUSEUM 2014.4-2015.3



東京国立博物館本館



重要文化財「色絵月梅図茶壺」仁清作
江戸時代・19世紀

東京国立博物館スクールプログラムは、
小学校・中学校・高等学校の児童・生徒のみなさんが
日本と東洋の伝統文化に触れ、歴史を学び、
美術を鑑賞するための手助けとなるプログラムです。
博物館をよく知るためのプログラムも用意しました。
展示室で「ほんもの」と向き合う体験が、より新鮮に、
より深いものになるように工夫されています。
博物館ならではの学習の醍醐味を感じいただけるはずです。
図工・美術・歴史の授業だけでなく、総合的な学習の時間、
キャリア学習、修学旅行時のグループ学習、クラブ活動などにも活用してください。

※スクールプログラムの実施は、火～金の平日 10:00～17:00の間(年末年始、ゴールデンウィーク期間を除く)

東京国立博物館とは？

- ◆ 明治5年(1872)、日本で最初にできた博物館です。
- ◆ 収蔵品の数は11万件以上、国宝87件、重要文化財631件を含む質・量ともに日本一のコレクションを誇ります(件数は2013年3月現在)。
- ◆ 日本とアジアの絵画、彫刻、工芸、考古遺物などを常時4000～5000件展示しています。日本とアジアの伝統文化に触れることができる博物館です。
- ◆ スクールプログラムに対応する展示館は全部で4つ。本館(日本ギャラリー)、東洋館(アジアの美術・考古)、平成館(日本の考古・特別展)、法隆寺宝物館(法隆寺献納宝物)。すべてをまわるには一日あっても足りません。見学のポイントを絞ってお出かけください。
- ◆ 展示は特別展(実施していない時期もあります)と、常設の総合文化展があります。スクールプログラムで扱うのは、おもに総合文化展の内容です。
- ◆ 見学には、最低でも60分は必要です。十分時間をとって来館ください。

レクチャールームでの プログラム

パワーポイントの画像を見ながら話をします

鑑賞をより深めるために考えられたプログラムです。学校の授業や行事、児童・生徒の興味にあわせて博物館を楽しめるよう、6つのコースを用意しています。特別展開催期間は、あわせて特別展の見どころもご紹介しします。プログラム終了後は各自自由観覧となります。

所要時間：プログラム30分+自由観覧最低60分

参加人数：380名まで

博物館の概要と見学当日の見どころ案内

A はじめての東博

はじめて東京国立博物館に来館する児童・生徒のためのガイダンスです。博物館の役割と東京国立博物館の歴史、基本的な見学のマナー、本館を中心に、その日に見られるおすすめの展示作品を紹介します。



鑑賞入門シリーズ

B はじめての仏像

仏像の種類や、それぞれの役割に応じた特徴、制作の時代による違いなど、仏像鑑賞の基礎を東博の収蔵品を中心に、画像を使って解説します。修学旅行の事前学習にも最適です。

C はじめての絵画

その日にご覧いただける展示作品を中心に取り上げ、屏風、絵巻、浮世絵など様々な絵画鑑賞の基礎、技法や鑑賞のポイントをお話します。

D はじめての考古

考古学って何？どんな場所からみつきり、そこから何がわかるの？縄文土器から江戸時代の発掘品まで、考古学のおもしろさ、見どころを解説します。

E はじめての東洋美術

おもに東洋館の展示作品を取り上げて、中国、朝鮮半島、東南アジア、西域、インド、エジプトなど東洋の美術、工芸、考古の作品、見どころをご紹介します。

F はじめての法隆寺献納宝物

どうして奈良の法隆寺の宝物が博物館にあるのか。日本の文化財保護の歴史にも関わる疑問です。正倉院宝物よりも古い、貴重な宝物の魅力についてお話します。

博物館見学の前に

●ウェブサイトで博物館のことを調べてみよう

東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>

たとえばこんなことを調べてみましょう。いろいろな疑問がウェブサイトで解決できます。

- ①開館時間や料金などについて→TOP≫来館案内
- ②博物館の歴史、作品の数や入館者数などのデータ→TOP≫来館案内
- ③その日に見られるもの→TOP≫右のカレンダーで来館日をクリック
- ④博物館で见たいものを、ウェブサイトで探してみよう

●持ち物を確認しよう

博物館で必要なもの、ちゃんと持ちましたか？

- ☐ 生徒証・生徒手帳
- ☐ 鉛筆（ボールペンやシャープペンシルは使えません）・ノート

●博物館の位置を確認しよう

上野公園には他にも美術館・博物館があります。



展示室での 作品鑑賞プログラム

時代もジャンルも幅広い東博の展示を鑑賞するために、いくつかの視点をお伝えするプログラムです。いろいろな見方で鑑賞し、博物館の鑑賞をより豊かなものにしてください。プログラム終了後は各自自由観覧となります。

所要時間：スクールプログラム30分+自由観覧最低60分
参加人数：A.8名まで B.380名まで

Aじっくり見る東博

博物館研究員と一緒に展示室ではんものの作品を鑑賞し、児童・生徒の興味・関心を引き出しながら、ひとつ(あるいは1テーマ)の作品をじっくり見る対話形式のプログラムです。グループで意見交換をし、いろいろな見方を通して、作品鑑賞の枠を広げてください。



好きなジャンルを選ぶことができます。



a 考古
(土偶、銅鐸、埴輪など)



b 仏像



c 絵画
(浮世絵・屏風・襖絵・掛幅など)



d 工芸
(陶磁・漆工品など)

B ワークシートで見学する東博と日本の伝統美術

日本の伝統もようや季節感、昔の道具と現代の道具のつながりなどに注目しながらワークシートを使って、各自、展示室をめぐってみましょう。最初にワークシートの使い方と博物館の見学マナーの説明を行います。ワークシートは当館ウェブサイトよりダウンロードすることも可能です。



博物館では

●じっくりゆっくりみてみよう

東京国立博物館には、たくさんの建物があり、つねに4000~5000の作品を見ることができます。好きな作品をみつけたら、いろんな方向からみてみよう。

●博物館からのおねがいごと

日本やアジアの文化財は、光や熱、湿気に弱いものが多いのが特徴です。また、汚したり虫の被害にあつたらいたんでしまいます。未来にも文化財を伝えるために協力してください。

① 光・熱からまもる

撮影禁止の作品・部屋以外は写真を撮ってOKですが、フラッシュは禁止です。展示室も暗いので気をつけて

② 汚さないように

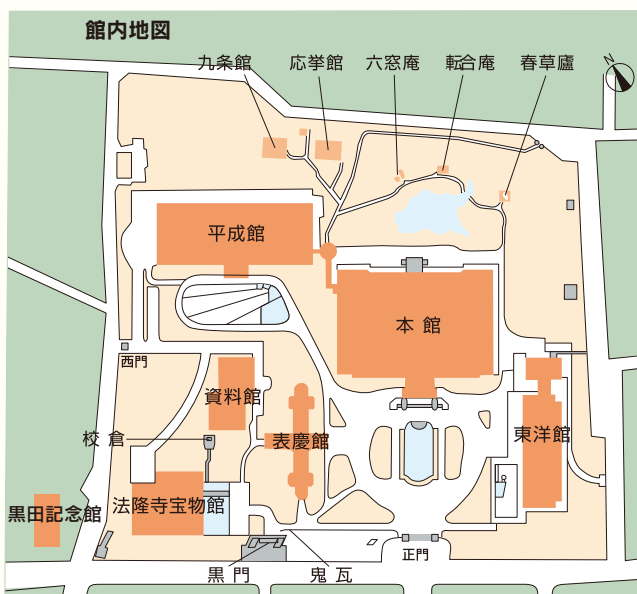
シャープペンシル、ペンではなく、鉛筆を使おう

③ こわさないように

大きな荷物、長傘は持ち込まない。触らない、走らない

④ 虫からまもる

飲食は決められたところで



ワークショップ

体験型のプログラムです

作品の取り扱いやものづくりを通して、日本と東洋の伝統文化に触れる体験型プログラムです。展示室でのほんものとの出会いが、新しい創作の契機となり、ワークショップの体験が展示室での鑑賞を深めることを目指しています。

所要時間：A. プログラム 90分以上 + 自由観覧最低 60分
B. プログラム 150分以上(自由観覧時間を含みます)
C. プログラム 60分以上 + 自由観覧最低 60分

参加人数：A～Cいずれも 20名まで

A 絵巻の取り扱い体験と日本画材料

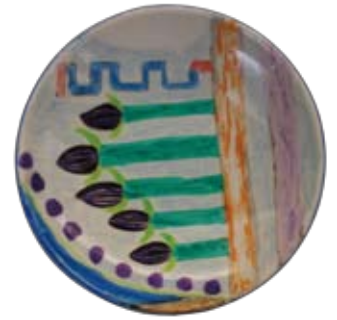
日本の伝統的な絵画様式に絵巻がありますが、実際に見たり、扱ったりする機会は多くありません。絵巻を自分で広げ、巻き取りながら見てみると、物語の流れるさまが実感できるでしょう。日本文化の伝統様式に触れるとともに、取り扱い体験を通じて文化財を大切に扱うことを学び、文化財保護の意義を理解するためのプログラムです。日本画に使う材料も紹介します。



B 伝統もようのお皿づくり

展示作品を見学しながら、日本の伝統的な図柄やもようをみつけてスケッチし、それを陶芸用のサインペンで、お皿にデザインします。作品鑑賞を通して伝統もようを学び、お皿に表現することでデザイン力を身につけ、古美術に親しむことができます。部活動でもご利用ください。お皿は焼成後、後日郵送いたします(着払い宅配便使用)。

形や色をアレンジし
異なる趣きのお皿になりました。



左：
元になった展示作品
織部角鉢
美濃 江戸時代・17世紀
松永安左エ門氏寄贈

右：
生徒の作品

同じ作品を題材に、
全く違うお皿のデザインができました。



右：
元になった展示作品
色絵朝顔図火入
平佐 江戸時代・19世紀
横河民輔氏寄贈

下：
児童・生徒の作品



C もようスタンプでデザインしよう

日本の伝統もようのスタンプを使って、ポストカードかしおりをデザインします。もようの意味や組合せを知り、配置の仕方を工夫してください。ワークショップを通して、展示作品に表されたもようやモチーフに、より興味をもつことができます。



キャリア学習のための プログラム

自分の役割や生き方、働き方を考えるキャリア学習では、社会や職業の現場でのさまざまな経験から生まれる多様な気づきや発見が重要視されています。また、博物館の仕事を垣間見ることがまたひとつ違う博物館の楽しみ方を教えてくれるかもしれません。プログラム終了後は各自自由観覧となります。

所要時間：プログラム 30 分 + 自由観覧最低 60 分

参加人数：A.10 名まで B.380 名まで

A 博物館の裏側インタビュー

博物館で働くようになったきっかけ、失敗談ややりがいはもちろん、博物館の仕事や運営について、博物館研究員に直接インタビューすることができます。訪問の際のマナーの確認などもできるでしょう。博物館のいろいろな仕事を知ったらぜひ展示室へ。仕事のひとつである展示、お客様をお迎えするために働く人たちにも注目してください。

※1 週間前までに質問事項を FAX でお送りいただきます。



B 博物館の仕事ガイダンス

博物館の仕事や運営、役割、組織について、展示室で文化財保護のための工夫など、通常の展示鑑賞では気がつかない博物館の仕事について画像を使ってお話しします。どんな人たちがどんな仕事をしているのか、どのように協力し合っているのかなどを知ることができます。プログラム A(博物館の裏側インタビュー)と組み合わせることもできます。



職場体験の受け入れも実施しています

各学校におけるキャリア教育の一環として実施される職場体験の受け入れを行っております。

当館の生涯学習ボランティアとともに、お客様案内、館内配布パンフレットの印刷、簡単なアクティビティの運営の補助など、特にお客様サービスに係る仕事を体験します。

さまざまな来館者に接することで、国際性を養い、コミュニケーション力を高めることができます。さらに、ボランティアとともに活動することにより、異世代間交流もはかれます。また、展示室では日本や東洋の古美術や伝統文化を身近に感じることができます。生徒の皆さんのキャリア学習にぜひお役立てください。



【受け入れのガイドライン】

活動日時 平日の火～金 10:00 ～ 17:00

(ただし、休館日、お盆、年末年始期間など、実施できない期間もあります。)

活動期間：連続した 2 ～ 4 日間

対象：中学生・高校生

受け入れ人数：1 校につき 4 名まで

※申込方法：事前申込制(先着順)。

別途、詳細案内と申込書を用意しております。

まずはお電話で日程をお問い合わせください。

(平成26年度は4月2日(火)からお受けします。)

※学校団体以外からの申込はお断りしています。

※事前学習として、博物館から課題を出します。

お問い合わせ、申込は、当館博物館教育課ボランティア室まで。

TEL 03-3822-1111(代表)

東京国立博物館は、 教科書でおなじみの“あの作品”があるところ

※作品保護のため頻繁に展示替えを行っており、ご覧いただけない作品もございます。
ご来館日の展示作品をあらかじめウェブサイト等でご確認ください。



● 絵踏(えふみ)で使われた
真鍮(しんちゅう)の踏絵(ふみえ)
重要文化財
踏絵 キリスト像(十字架上のキリスト)
江戸時代・17世紀



● 伊能忠敬(いのうただたか)がつくった地図
重要文化財 日本沿海輿地図(中国)東北
江戸時代・19世紀



● 海外にも影響(えいきょう)をあたえた浮世絵(うきよえ)
富嶽三十六景・神奈川沖浪裏 葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀



● 古墳(こふん)から発掘(はくつ)された国宝の埴輪(はにわ)
国宝 埴輪 挂甲の武人
古墳時代・6世紀



● 近代文化の代表的彫刻
重要文化財 老猿 高村光雲作 明治26年(1893)



● 「からころも きつつなれにし つましあれば
はるばるきぬる たびをしぞおもふ」の歌で
しられる伊勢物語(いせものがたり)の場面を光琳がデザイン
国宝 八橋蒔絵螺鈿硯箱
尾形光琳作 江戸時代・18世紀



● 平安時代につくられた
古今和歌集(こきんわかしゅう)をかけた書
国宝 古今和歌集(元永本)
平安時代・12世紀
三井高氏寄贈



● 仏像(ぶつぞう)のはじまり、
ガンダーラやマトゥラーの仏像
菩薩立像 クシャーナ朝・2世紀



● シルクロード、
東西交流(とうざいこうりゅう)の証(あかし)
国宝 竜首水瓶
飛鳥時代・7世紀



● 日本(にほん)の伝統芸能(でんとうげいのう)である
能楽(のうがく)や歌舞伎(かぶき)につかわれた
面(おもて)や衣裳(いしょう)
重要文化財 能面 般若
江戸時代・17~18世紀 奈良・金春座伝来
重要文化財 縫箔 茶地百合御所車模様
安土桃山時代・16世紀 奈良・金春座伝来



学校の先生方へ

ご来館をご検討の際に

●博物館について知りたい場合

当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)をご覧ください。

また、年に数回、学校の先生方を対象に、展示の見方や博物館利用についての研修を開催しています。

当館ウェブサイトにご案内を掲載しますのでご覧下さい。

●下見をご希望の場合

開館時間中、総合文化展のみ無料で教育活動のための下見ができます。

入館は閉館の 30 分前までですのお気をつけください。

ただし、特別展は別途料金が必要です。

●博物館の職員に確認したいこと、質問がある場合

教育普及室までお問合せください。

よくある質問

◎料金について

入館料について

総合文化展は、高校生以下無料です。ただし、生徒証・生徒手帳の確認をいたします。また、学校の教育活動で来館された先生も総合文化展は無料です。

特別展観覧料は別途お問合せください。

スクールプログラム参加費について

原則として無料です。

◎バスの駐車について

有料駐車場があります。お問合せください。(要事前予約)

◎展示について

総合文化展は文化財保護のため、頻繁に展示替えを行っています。目的の作品が必ず見られるとは限りません。あらかじめ当館ウェブサイトでご確認ください。

◎障がいをもつ児童・生徒への対応について

特別な支援が必要な児童・生徒の皆様にも多くご来館いただいています。まずは教育普及室にご相談ください。どんなことができるか、先生と一緒に考えてみたいと思います。当館ウェブサイト「バリアフリー情報」もご参照ください。

ご来館が決まったら

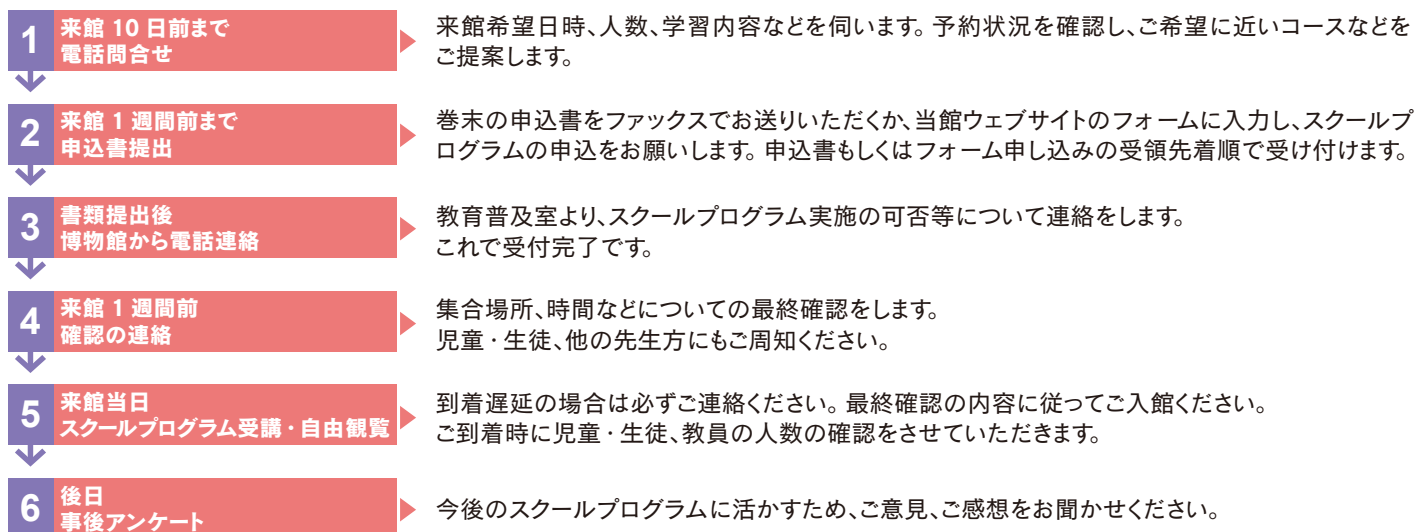
●自由観覧を希望の場合

事前予約は特に必要ありませんが、混雑状況をもとに入館時間や

観覧方法についてアドバイスさせていただく場合もありますので教育普及室までご連絡ください。

●スクールプログラム受講希望の場合

事前予約制です。以下の手順で手続きをお願いします。平成 26 年度の受付は平成 25 年 2 月 4 日(火)より開始します。



【開館時間】

9:30 ～ 17:00(入館は 16:30 まで)

原則、4月から12月までの特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで、4月から9月までの土曜、日曜、祝日、休日は18:00まで開館します。(入館は閉館の30分前まで)

【休館日】

月曜日(ただし月曜日が祝日または休日の場合は開館し、翌火曜日に休館)、年末年始。2014年6月3日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。

※ゴールデンウィークとお盆期間中は原則無休。

※開館時間等は予告なく変更されることがあります。最新情報等は、当館ウェブサイトでご確認ください。

連絡先

東京国立博物館教育普及室 TEL: 03-3822-1111、FAX: 03-3822-3010(FAX専用)

平成26年度東博スクールプログラム申込書



申し込み受付期間:平成26年2月4日～平成27年3月23日

平成 年 月 日

TEL:03-3822-1111 (代表) FAX:03-3822-3010 (FAX専用)

				到着時間	時	分
来館日時	月	日	曜日	プログラム開始時間	時	分
※火～金の平日、10:00～17:00の間				出発時間	時	分
(ふりがな) 学校名			学年	年		
(ふりがな) 先生の名前			先生			
(ふりがな) 代表生徒名 *引率がない場合必須						
学校の住所 (〒 -)						
電話番号			FAX番号			
人数: 生徒 人 + 引率教員 人 + その他 人 = 合計 人 (保護者・添乗員、入館有料)						
スクールプログラム参加の目的		1. 遠足・社会科見学		2. 修学旅行		3. 各教科の学習(科目:)
		4. 総合的な学習の時間		5. クラブ活動(部)		6. その他()
スクールプログラムコース(全13コースの中から <u>ひとつ</u> を選び、○をつけてください)						
1 レクチャールームでのプログラム						
A はじめての東博		B はじめての仏像		C はじめての絵画		
D はじめての考古		E はじめての東洋美術		F はじめての法隆寺献納宝物		
2 展示室での作品鑑賞プログラム						
A じっくり見る東博(下記から希望のジャンルを選んでください) a 考古 b 仏像 c 絵画 d 工芸				B ワークシートで見学する東博と日本の伝統美術		
3 ワークショップ						
A 絵巻の取り扱い体験と日本画材料			B 伝統もようのお皿づくり			
C もようスタンプでデザインしよう						
4 キャリア学習のためのプログラム						
A 博物館の裏側インタビュー			B 博物館の仕事ガイダンス			
ご希望: ☐ 特別展の見学 (展覧会名:)						
☐ 事前打ち合わせ(月 日 時 分～) *下見のみの場合お申し込みの必要はありません。 正門で手続きの上、ご入館ください。						

*各プログラムに参加されるための必要滞在時間を満たしているか、ご確認ください。

*先着順で受付しています。空き状況に関わらず1週間前で締め切ります。



東京国立博物館

TEL:03-3822-1111 (代表) FAX:03-3822-3010

URL <http://www.tnm.jp>